



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名 シスメックス株式会社
コード番号 6869 URL <http://www.sysmex.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家次 恒
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 釜尾 幸俊
四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

TEL 078-265-0500
平成24年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	67,181	2.9	10,591	12.2	10,052	13.3	6,388	9.0
24年3月期第2四半期	65,266	8.7	9,437	△1.2	8,871	△1.0	5,862	6.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,505百万円 (31.3%) 24年3月期第2四半期 2,670百万円 (△17.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	62.10	61.92
24年3月期第2四半期	57.06	56.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	142,697	104,329	72.7	1,007.76
24年3月期	142,285	102,502	71.6	990.51

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 103,727百万円 24年3月期 101,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	19.00	34.00
25年3月期	—	17.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	3.9	20,000	4.1	19,500	1.9	12,100	0.8	117.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	103,146,816 株	24年3月期	103,027,016 株
25年3月期2Q	217,880 株	24年3月期	217,764 株
25年3月期2Q	102,876,721 株	24年3月期2Q	102,735,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 決算補足資料(和英)は平成24年11月6日(火)に、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景とした緩やかな内需回復の動きに足踏みが見られました。海外におきましては、米国における緩やかな景気回復や東南アジア諸国の堅調な成長が見られたものの、長期化する欧州債務問題、それに伴う不安定な為替動向等、経済の先行き懸念が高まっています。

医療面におきましては、国内では、将来を見据えた医療と介護に関する構造改革を基本方針とする診療報酬改定が平成24年4月に実施されましたが、検体検査の領域では軽微な改定にとどまりました。欧米先進国では、医療費抑制と制度改革に取り組んでおり、スペインやイタリア等では緊縮財政措置として医療費削減を実施しています。米国では、医療保険改革法が連邦最高裁によって合憲とされ、無保険者の解消に向けた議論が進められています。また、中国では、都市・農村での医療サービスの格差解消を目指し、医療保険制度を含む医療制度改革が推進されています。一部に不安定要素は存在するものの、基本的に医療関連需要は底堅く推移しております。

<参考>地域別売上高

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	18,910	29.0	18,942	28.2	100.2
米州	13,453	20.6	13,623	20.3	101.3
欧州	18,473	28.3	17,676	26.3	95.7
中国	10,041	15.4	12,753	19.0	127.0
アジア・パシフィック	4,387	6.7	4,185	6.2	95.4
海外計	46,355	71.0	48,239	71.8	104.1
合計	65,266	100.0	67,181	100.0	102.9

当社グループにおきましては、ロシュ・ダイアグノスティックス社との当社製品に関するグローバルでの販売・サービス契約更新を受けて、互惠関係の充実に取り組んでいます。また、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス社との血液凝固関連製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新しました。

新興国の拡大する需要に対応する為に、多項目自動血球計数装置のコンパクトモデル「XPシリーズ」を平成24年5月より発売しました。また、主力の血球計数検査分野における最上位モデルである多項目自動血球分析装置「XNシリーズ」について、平成24年7月に中国の国家食品薬品监督管理局（State Food and Drug Administration）の認可を取得しました。さらに、ライフサイエンス事業の主力製品であるリンパ節転移迅速検査システム用の検査試薬「リノアンプBC」について、従来の乳がん、大腸がんに加えて胃がんへの適用拡大に関して、厚生労働省より平成24年7月に承認を取得しました。

国内販売につきましては、医療制度改革に伴う経営改善により大規模医療機関の設備投資は底堅く推移しており、ソリューション提案を引き続き推進した結果、大型案件の受注は堅調に推移し、国内売上高は18,942百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

海外販売につきましては、販売・サービス体制の強化、ソリューション提案を進めてまいりました結果、検体検査機器、検体検査試薬の売上が堅調に推移し、各国現地通貨ベースでは概ね順調に推移しました。その結果、対ユーロでの大幅な円高の影響を補い、当社グループの海外売上高は48,239百万円（前年同期比4.1%増）、構成比71.8%（前年同期比0.8ポイント増）となりました。

この結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は67,181百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は10,591百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益は10,052百万円（前年同期比13.3%増）、四半期純利益は6,388百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

ソリューション提案を引き続き推進したことにより、主力の血球計数検査分野を中心に大型案件の受注は堅調に推移したものの、売上高は20,143百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しはあったものの、減収や対ユーロでの円高の影響等により、営業利益は5,092百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

② 米州

米国では、医療保険改革法の行方に対する不透明感からの買い控えが一部影響し、血球計数検査分野の機器売上は減少したものの、設置台数増加に伴い試薬やサービス売上が伸長し、増収となりました。一方、中南米においては一部の国で入札案件が減少し、売上は微減となりましたが、米州全体での売上高は13,249百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しによる原価増と販売・サービス活動の強化や統括現地法人のオフィス移転に伴う販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は829百万円（前年同期比33.2%減）となりました。

③ 欧州

欧州債務危機による緊縮政策の影響が一部であったものの、直接販売・サービス活動の強化により、血球計数検査分野を中心に現地通貨ベースでは売上が好調に推移しましたが、大幅な円高の影響により、売上高は17,607百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

利益面につきましては、大幅な円高の影響により、営業利益は2,636百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

④ 中国

医療需要拡大に伴い、血球計数検査分野、血液凝固検査分野、尿検査分野において検体検査機器及び検体検査試薬の売上が大幅に伸長し、売上高は12,752百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

利益面につきましては、グループ間取引価格の見直しによる原価増等を増収効果により補い、営業利益は1,554百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

⑤ アジア・パシフィック

インドでは代理店契約更新の遅延による影響により減収となったものの、インドネシアでの売上回復やフィリピンでの直販化の進展により、売上高は3,429百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

利益面につきましては、販売・サービス体制整備による販売費及び一般管理費の増加はあったものの、原価率の低下により、営業利益は299百万円（前年同期比263.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて412百万円増加し、142,697百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が5,790百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4,608百万円減少したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比べて1,414百万円減少し、38,368百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が219百万円減少、未払法人税等が554百万円減少、賞与引当金が603百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,826百万円増加し、104,329百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が4,435百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が2,712百万円減少したこと等によるものであります。また、自己資本比率は前連結会計年度末の71.6%から1.1ポイント増加して72.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より5,798百万円増加し、27,636百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。
＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果得られた資金は、14,223百万円（前年同期比6,004百万円増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が9,815百万円（前年同期比970百万円増）、売上債権の減少額が3,324百万円（前年同期比3,184百万円増）となったものの、法人税等の支払額が3,748百万円（前年同期比143百万円増）となったこと等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、5,833百万円（前年同期比8百万円減）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が5,229百万円（前年同期比2,091百万円増）となったこと及び前期に事業譲受による支出が1,900百万円あったこと等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、1,833万円（前年同期比260百万円増）となりました。この主な要因は、配当金の支払額が1,953百万円（前年同期比310百万円増）となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関する事項については、本日（平成24年11月6日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,362	27,153
受取手形及び売掛金	36,218	31,609
有価証券	745	640
商品及び製品	16,534	16,487
仕掛品	1,401	1,506
原材料及び貯蔵品	3,907	3,893
その他	10,341	9,872
貸倒引当金	△350	△385
流動資産合計	90,160	90,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,736	17,684
その他（純額）	23,103	22,950
有形固定資産合計	39,839	40,634
無形固定資産		
のれん	2,194	1,817
その他	4,709	4,404
無形固定資産合計	6,903	6,221
投資その他の資産	5,381	5,062
固定資産合計	52,124	51,919
資産合計	142,285	142,697
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,176	11,956
短期借入金	5	4
未払法人税等	2,776	2,221
賞与引当金	3,622	3,019
役員賞与引当金	248	119
製品保証引当金	157	121
その他	15,741	15,009
流動負債合計	34,728	32,452
固定負債		
長期借入金	4	1
退職給付引当金	1,263	1,466
役員退職慰労引当金	160	160
その他	3,624	4,287
固定負債合計	5,053	5,915
負債合計	39,782	38,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,187	9,356
資本剰余金	14,127	14,296
利益剰余金	83,484	87,920
自己株式	△255	△256
株主資本合計	106,543	111,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	259
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△5,136	△7,848
その他の包括利益累計額合計	△4,709	△7,588
新株予約権	546	484
少数株主持分	122	117
純資産合計	102,502	104,329
負債純資産合計	142,285	142,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	65,266	67,181
売上原価	24,074	24,794
売上総利益	41,191	42,387
販売費及び一般管理費	31,754	31,796
営業利益	9,437	10,591
営業外収益		
受取利息	67	56
受取配当金	28	27
投資不動産収入	211	—
助成金収入	9	130
その他	63	54
営業外収益合計	379	269
営業外費用		
支払利息	35	33
持分法による投資損失	30	30
投資不動産維持費	49	—
為替差損	785	684
その他	43	59
営業外費用合計	944	808
経常利益	8,871	10,052
特別利益		
固定資産売却益	11	9
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	11	12
特別損失		
固定資産除売却損	33	241
その他	4	8
特別損失合計	38	249
税金等調整前四半期純利益	8,844	9,815
法人税、住民税及び事業税	3,913	3,273
法人税等調整額	△937	146
法人税等合計	2,976	3,420
少数株主損益調整前四半期純利益	5,868	6,395
少数株主利益	6	6
四半期純利益	5,862	6,388

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,868	6,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△166
繰延ヘッジ損益	16	0
為替換算調整勘定	△3,270	△2,723
その他の包括利益合計	△3,198	△2,890
四半期包括利益	2,670	3,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,670	3,510
少数株主に係る四半期包括利益	0	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,844	9,815
減価償却費	3,565	3,782
売上債権の増減額 (△は増加)	139	3,324
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,572	△951
仕入債務の増減額 (△は減少)	313	△95
その他	1,476	2,040
小計	11,766	17,915
利息及び配当金の受取額	86	84
利息の支払額	△29	△27
法人税等の支払額	△3,604	△3,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,219	14,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,138	△5,229
無形固定資産の取得による支出	△779	△701
事業譲受による支出	△1,900	—
その他	△24	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,842	△5,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	273	—
長期借入金の返済による支出	△2	△2
配当金の支払額	△1,643	△1,953
その他	△200	122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,573	△1,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△701	△758
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	101	5,798
現金及び現金同等物の期首残高	18,915	21,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,017	27,636

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	中国	アジア・パ シフィック	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,838	12,688	18,382	10,041	3,315	65,266	—	65,266
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,345	1	230	2	78	20,657	△20,657	—
計	41,183	12,690	18,612	10,044	3,393	85,923	△20,657	65,266
セグメント利益	5,215	1,242	2,702	1,526	82	10,768	△1,331	9,437

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,331百万円には、セグメント間取引消去36百万円、棚卸資産の調整額△1,288百万円、固定資産の調整額△80百万円などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、平成23年4月1日付けで片倉工業株式会社の生物科学研究所とカイコを用いて診断薬の原料となるタンパク質を生産する事業を譲り受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,405百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	中国	アジア・パ シフィック	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,143	13,249	17,607	12,752	3,429	67,181	—	67,181
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,124	1	215	2	77	20,421	△20,421	—
計	40,268	13,251	17,822	12,754	3,506	87,603	△20,421	67,181
セグメント利益	5,092	829	2,636	1,554	299	10,412	178	10,591

(注) 1. セグメント利益の調整額178百万円には、セグメント間取引消去165百万円、棚卸資産の調整額△12百万円、固定資産の調整額24百万円などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。